

いくだみ

No. 189

2021年3月

グッドデザイン賞受賞

令和元年10月5日に開館しました「ミライon」が、このたび2020年度グッドデザイン賞(主催:公益財団法人日本デザイン振興会)を受賞しました。「本と人との出会い」・「人と人との出会い」などへとつながる内部空間の工夫や、大空間と大屋根が敷地のランドスケープを生み出し、それが地域全体に価値を届けるなど、「読書」から「地域」へつながるデザインが高く評価されました。



もくじ

◎障害者サービスのご案内	P 2
◎バリアフリー資料の紹介	P 3
◎令和2年度開催講座・イベントの紹介	P 4
◎ミライon開館1周年イベントの紹介	P 5

◎全国優良読書グループ被表彰団体紹介	P 5
◎長崎県公共図書館等協議会被表彰団体紹介	P 5
◎郷土資料センターの概要	P 6

障害者サービスのご案内

県立長崎図書館では、身体等に障害がある方や、活字による読書に困難を感じている方を対象とした様々なサービスを実施しております。

サービスを利用する場合は、登録が必要となります。利用を希望する場合や詳しい内容を知りたい場合は、ミライo n図書館ホームページ内の「利用案内→障がい者サービス」をご確認いただくか、県立長崎図書館奉仕課までお問合せください。ご利用をお待ちしております。

① 障害者ふれあいブックメールサービス

身体的障害等のため図書館に直接来館することが難しい方に、郵送による図書館資料の貸出を行います。

送料については往復とも県立長崎図書館が負担をします。

【対象者】

区 分	身体障害者手帳
両下肢、体幹、移動機能の障害、視覚障害	1 級又は 2 級
心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸、免疫、肝臓の障害	1 級から 3 級



② 視覚障害者等サービス

活字による読書に困難を感じている方のために、音声デージー図書（活字を読み上げた音声データ）が多く収められている「サピエ」などを利用できるサービスです。

※「サピエ」とは、視覚障害者を始め、目で文字を読むことが困難な方々に対して、様々な情報を音声データなどで提供するネットワークです。

メインサービスであるサピエ図書館は、全国のサピエ会員施設・団体が製作または所蔵する点字図書や録音図書などの全国最大の書誌データベースです。

ご利用できる方

- ◆病気等で文字が読みにくくなった方
- ◆視覚にハンディキャップがある方
- ◆病気や手の麻痺等で、本を長時間持ったり、ページをめくったりするのがつらい方など

※この他にも対象となる場合がありますので、県立長崎図書館奉仕課までご相談ください。

ご利用方法

- ◆自宅のパソコンから直接「サピエ」へアクセスをし、データをダウンロードする。
- ◆県立長崎図書館を通じてダウンロードしたCDを借りる。
- ◆県立図書館内で専用の機器を使って視聴する。

※視聴するためには、専用の機器または無料のソフトをダウンロードする必要があります。



【お問合せ先】 県立長崎図書館奉仕課 TEL: 0957-48-7700

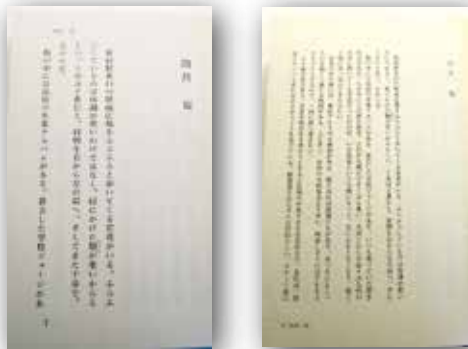
バリアフリー資料の紹介

ミライオン図書館では、視覚障害などで資料や情報利用に困難がある方に対して配慮してつくられた資料（バリアフリー資料）も所蔵していますので、その一部をご紹介します。

大活字本

通常の出版物より文字を大きく、行間を広くとって印刷された図書で、弱視や高齢など文字が読みづらい方などが読みやすくなっています。

ミライオン図書館では現在、一般向け大活字本を約3,800冊、児童向け大活字本を約200冊所蔵しています。



左)「横道世之介 上」吉田修一著、埼玉福祉会、2020年
右) 底本「横道世之介」吉田修一著、毎日新聞社、2009年

点字資料

点字で情報が記録された資料で、点字は視覚障害者が手で触れて読むための文字です。文字だけでなく、絵や図を触って読むことができる資料もあります。

点字新聞や『テルミ』（児童向けの点字雑誌）、点字付きのさわる絵本などを所蔵しています。



「ぐりとぐら てんじつきさわるえほん」中川李枝子さく、大村百合子え、福音館書店、2013年

布の絵本

布でできた絵本で、紙でできたものより壊れにくい。ため乳幼児などの利用にも適しています。

ひもやファスナー、ボタン、スナップなどを使ったしかけがなされており、それらを通した遊びが可能となっています。



「ぬのえほん おむすびころりん」ふきのとう文庫（製作）

LLブック

始まりはスウェーデンであり、LLとはLättläst（やさしく読める）というスウェーデン語からとられています。

読みやすいよう、写真やイラスト、ピクトグラム、短い言葉などで構成されています。



左)「旅行にいこう!」藤澤和子(ほか)企画・編集・製作、樹村房、2019年

右)「旅行にいこう!」の一部

令和2年度開催講座・イベントの紹介

新幹線出前講座

10月17日から30日にかけて九州新幹線西九州ルートの開業に向けた特別展示を行いました。西九州ルートに関するパネルや駅舎模型の展示、新幹線や鉄道関連書籍を集めた特設スペースを設置しました。



期間中は、小学生を対象にした講座「もうすぐ！ながさきに新幹線がやってくる」や、VR動画体験なども行いました。

離婚・DV等についての法律知識を学ぶ



11月7日に「法テラス」との共催イベントとして、「わたしらしく生きるために」講座を開催しました。当日は、実際に離婚やDVの実務を手掛ける女性弁護士が、知っておくとよい法律制度や裁判実務をわかりやすく解説してくださいました。

女性に対する暴力をなくす運動ワークショップ

11月12日から30日にかけて、長崎県・大村市男女共同参画推進センターとの共催で「女性に対する暴力をなくす運動」の啓発展示を行いました。



期間中は運動のシンボルカラーである紫色の布を用いた、ガーランド作りのワークショップを行いました。

無料経営相談会

毎月1回、「長崎県よろず支援拠点」による無料経営相談会を開催しています。

新型コロナウイルス関連の経営相談など、専門家に経営全般のことをお聞きできる機会として活用いただいています。

就職支援・個別相談会

ミライon図書館では「長崎で働く」人を応援する企画として、長崎県人材活躍支援センターと連携して毎週1回、就職のための巡回相談会を行っています。

相談は人材活躍支援センターの専門のスタッフが個別で対応していて無料です。

○仕事の選び方や適性が分からない。

○履歴書や職務経歴書作成のアドバイスがほしい。

○面接の自己PRに自信がない。

等、就職のための困ったことや悩みなどを気軽に相談することができます。(事前に長崎県人材活躍支援センターへの申込が必要)



図書館の1階の総合案内横のパフレット置きや、3階のビジネスの棚では、就職のための様々なセミナーの案内なども設置し情報発信をしていますので、相談会とあわせてご利用いただいています。

クリスマス向け展示

12月2日から12月13日まで、長崎県花き振興協議会鉢物部会との共催で、1階ギャラリーと3階一般開架スペースで長崎県産の鉢物類・苗物類を活用したクリスマス向け展示を行いました。

期間中は、多くの方にご来館いただき、ポインセチアや、シクラメンなどの色鮮やかな鉢物・苗物をお楽しみいただきました。



たくさんの方々のご参加、

ありがとうございました！

バックヤードツアー

ミライon図書館では毎月バックヤードツアーを行っています。図書館の本の並び方やパソコンを使った本の探し方など、図書館の使い方を紹介したり、書庫の中等の施設の案内をしたりします。書庫に入っている約100万冊の本を見ていただく機会として好評です。開催はHP、新聞等でお知らせします。参加するには事前申込が必要です。





ミライon開館1周年イベントの紹介



核時代の文学 偽の語り部と小説の真実

9月26日に、芥川賞作家青来有一さんによる講演会を開催しました。長崎県ゆかりの作家による原爆文学や、ご自身の書かれた原爆文学についてご講演いただきました。



青来さんご自身による著作の朗読も行われ、戦後75年の節目に、核兵器廃絶に向けて考えを深める機会となりました。

長崎OMURA室内合奏団

10月11日に、長崎OMURA室内合奏団をお招きして「物語を彩る楽曲たち」と題して、小説に出てくる音楽と、その本を紹介しました。



当日は、「セロ弾きのゴーシュ」に出てくる「トロイメライ」の演奏を皮切りに、全6曲を演奏いただきました。

ミライon図書館で ウォーリーを探そう!

10月6日から11月8日にかけて、図書館の中に隠れているウォーリーたちを探す企画を行いました。

期間中は、延べ2千人以上の方々にご参加いただきました。



光る絵本展 プペルバス

11月19日に、光る絵本展『プペルバス』を開催しました。『えんとつ町のプペル』（にしのあきひろ／著）をテーマにしたラッピングバスへの乗車や、Coto&Otoのお二人と、切り絵作家コバタナミコさんのスペシャルコラボレーションによる読み聞かせなどが行われました。



2020年度 第53回 全国優良読書グループ被表彰団体の紹介

この賞は公益社団法人読書推進運動協議会から読み聞かせボランティアなど優れた活動を行っている団体に贈られるものです。

○雲仙市「おはなしの会 くれよん」

平成12年3月、ある講座に参加した5～6名で、「くれよん」を結成し、今では会員が11名に増え、21年目を迎えられました。子どもたちへの豊かな愛情と市民への温かい思いを原動力として、雲仙市の読書活動の推進に大きく貢献されています。



令和2年度 長崎県公共図書館等協議会被表彰団体の紹介

11月9日に令和2年度長崎県公共図書館等協議会表彰式を行いました。長崎県内の公共図書館等の発展に貢献する活動において、県内各地で特に優れた実践を行っている団体を表彰しています。今年度は、3団体が受賞されました。



時津町「人形劇なづみ座」



東彼杵町「読み語りボランティア クジラっ子」(左)
「読み語りボランティア ぼけっとくらぶ」(右)

長崎県立長崎図書館郷土資料センター概要

県立長崎図書館郷土課は、現在、なるたき図書館のカウンターを借りてサービス提供中ですが、令和3年度末までに、旧県立長崎図書館があった長崎市立山に新しく長崎図書館郷土資料センターとしてオープンする予定です。

施設の名称については、長崎県に関する地域資料や郷土出身者に関する資料などを収集・保存・提供する知の拠点として、また、県民の皆様が郷土長崎県についての学びを深め、故郷長崎への愛着と誇りを持ってほしいという思いを込め、「長崎県立長崎図書館郷土資料センター」とすることといたしました。



敷地入口より見たパース（左側：エントランス、右側：開架・閲覧室・2F閉架）



1階 エントランスから集会・研修室



1階 開架・閲覧室

機能

- ◆県立長崎図書館の郷土資料(地域資料)部門を担う
- ◆ミライonサテライト(ミライon図書館と相互に連携し資料の予約・貸出等が可能)
- ◆長崎県の公文書コーナーの設置(県総務文書課)

施設の概要

- ◆延床面積:1,691.03平米
- ◆構造:鉄筋コンクリート造2階建
- ◆蔵書数:約17万冊
(閲覧室に約3万冊配架予定)
- ◆集会・研修室:間仕切りにより3室可
- ◆駐車場:23台, 駐輪場:10台

